



# ことのは kotonoha

筑館高等学校 図書館だより

発行：令和2年6月3日

文責：司書 佐藤

長い休校期間でしたが、みなさんは自宅でどのような時間を過ごしていましたか？新型コロナウイルスの影響は海外の国々から私たちの身近なところまで出てきています。毎日テレビや新聞で報道されていますが、ウィルスそのものについて、また、経済や政治、海外の対応、学校の9月始業など、みなさんも深く考えてみてはいかがでしょうか。情報収集にはぜひ、図書館を利用してください。

## \*図書館の利用について\*

下記についてご協力をお願いします。



学習室



手の消毒をしよう。



図書館



図書館・学習室では距離をとって座り、向かい合って座らないようにしましょう。



貸出する本、返却された本は汚れを拭いたり、消毒をしたりしています。みなさんは読む前、読んだ後の手洗いを忘れずにお願いします。

安心して利用してもらえるよう、換気、利用後の机の消毒なども行います。生徒のみなさんも、マスクの着用や手洗いなどご協力お願いします。



## ～ 休校中も新しい本が入っています ～

図書館前の「新着本紹介コーナー」をチェックしてください。また、こんな本が読みたい！など、気軽に図書館司書へ声をかけていただければ、関連図書を調べ購入の参考にしたり、公共図書館から借用したり、できるだけたくさんの方がみなさんと繋がるよう、お手伝いをさせていただきます。

## ～ 本の返却、忘れていませんか？ ～

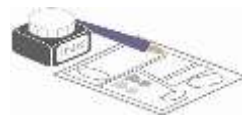
休校前に借りた本を返し忘れていませんか？ 司書が不在でも図書館入口の赤い返却ポストにいらてもらえればOKです！忘れずに返しましょう。

# 注目、手塚治虫作品!!

新型コロナウイルスによる自粛生活の中で、注目されたマンガがあります。それが、手塚治虫が描いた『火の鳥』です。手塚作品の中でも最高作品の一つと言われているものではありませんが、なぜ再度、注目が集まり、多く読まれているのでしょうか。

## 手塚治虫（1928～1989）

大阪府豊中市に3人兄弟の長男として生まれました。母親がマンガを購入し、好きなだけ読ませてくれたり、声に出して読んでくれたり、父親は映画好きで当時は珍しい映写機を持っていたりとユニークな家庭環境で育ちます。そして見様見真似でマンガらしきものを描くようになります。戦争中も医者を目指すことになった時もマンガを描くことをやめることはありませんでした。いよいよ、進路を決める時、母親の「本当に好きなのはどちら？そんなに好きのなら、東京へ行ってマンガ家にならさい」という一言でマンガ家になることを決心します。



## 火の鳥

手塚治虫がライフワークとした作品。古代から未来、宇宙などを舞台に描かれています。その血を飲めば、永遠の命を得られると言われる鳥、「火の鳥」の存在が登場人物たちを翻弄します。本作が初めて単行本化された時、プロローグに次のように書いています。「火の鳥」は、生と死の問題をテーマにしたドラマだ。古代から未来へえんえんと続く火の鳥…永遠の生命とのたたかいは、人類にとって宿命のようなもののだ。



1986年から1988年にかけての講演記録から、子供時代にはじまるマンガ家としての人生をまとめた本にはこのようなことも書かれています。

「生命の尊厳」はぼくの信念です。ですから、ぼくの作品中にはこのテーマがくりかえし出てきます。  
～中略～ ぼくがどんなに科学技術とそれによる社会構造の変革に疑問を持っているかは、『Oマン』や『ブラック・ジャック』や『火の鳥』などには十分に描き込んだつもりです。

ぼくのマンガ人生 手塚治虫 著 岩波書店 1997年発行 より  
マンガを読む前に、このような本を読んだり、手塚治虫公式サイトをみたりすることで、作品から伝えたいこと、なぜ、この時期にまた火の鳥が注目されたのかななどを強く感じるができると思います。

ぜひ、読んでみてください。

図書館には「火の鳥」の他にも「ブラック・ジャック」「リボンの騎士」「ブッダ」などの作品もあります。読み比べてみるのもオススメです。